

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名 スルガ株式会社
 コード番号 7874 URL <http://www.suruga-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 憲一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 増田 英生
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 東

TEL 0548-32-9835

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年3月期第1四半期 | 4,833 | — | 290 | — | 335 | — | 167 | — |
| 20年3月期第1四半期 | 4,625 | 6.9 | 333 | △37.1 | 377 | △37.9 | 98 | △69.9 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期第1四半期 | 23.39 | — |
| 20年3月期第1四半期 | 13.68 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 21年3月期第1四半期 | 20,463 | 17,908 | 85.6 | 2,438.24 |
| 20年3月期 | 20,143 | 18,107 | 88.0 | 2,467.13 |

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 17,511百万円 20年3月期 17,719百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年3月期 | — | 0.00 | — | 50.00 | 50.00 |
| 21年3月期 | — | — | — | — | — |
| 21年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 50.00 | 50.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-------------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期連結累計期間 | 9,490 | 2.1 | 440 | △39.7 | 520 | △40.6 | 300 | △40.5 | 41.77 |
| 通期 | 20,000 | 5.8 | 1,000 | △11.8 | 1,100 | △25.7 | 580 | △22.2 | 80.75 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社(社名(株)センスーズ) 除外 1社(社名)
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 7,222,835株 20年3月期 7,222,835株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 40,686株 20年3月期 40,686株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 7,182,149株 20年3月期第1四半期 7,182,163株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
- (2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- (3) 当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当連結会計年度より百万円単位をもって記載することと変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前第1四半期及び前連結会計年度についても、百万円単位に組替えて表示しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油、原材料価格の高騰等により企業収益が減少しており、また、サブプライム住宅ローン問題を背景とするアメリカの景気後退懸念や株式市場の動向等から、景気の下振れリスクが高まってまいりました。

日用雑貨品業界におきましては、景況感の悪化及び消費者物価の上昇により消費者マインドが悪化しており市場全体に減速感が見られることに加え、原油及び原材料価格の高騰に伴い調達・輸送コスト等が増大しており、市場環境は非常に厳しいものとなりました。

このような環境の中、当グループにおいては、付加価値の高い新製品開発に注力するとともに、採算性の悪化した製品の改廃を含めて製品構成の再構築を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は48億33百万円（前年同期比4.5%増）となりましたが、原材料価格の上昇による調達コストの増大等から営業利益は2億90百万円（前年同期比12.9%減）、経常利益は3億35百万円（前年同期比11.0%減）、四半期純利益は1億67百万円（前年同期比70.9%増）となりました。

事業の部門別の業績を示すと、次のとおりであります。

（第一部門）

調達コストの上昇により採算性の悪化した製品の販売を一部見合わせることで、売上高は対前年同期比1億19百万円減の22億21百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

（第二部門）

新製品の発売が順調に推移し既存得意先におけるシェアアップが図れたこと等から、売上高は対前年同期比3億33百万円増の25億9百万円（前年同期比15.3%増）となりました。

（第三部門）

景況感の悪化に伴い市場環境は厳しい状況で推移し、売上高は対前年同期比6百万円減の1億2百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末における総資産は前連結会計年度末に比べ3億19百万円増加し、204億63百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ75百万円減少し、140億44百万円となりました。主な増加は、現金及び預金の増加8億54百万円であり、主な減少は、有価証券の減少5億円、受取手形及び売掛金の減少4億40百万円であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3億95百万円増加し、64億18百万円となりました。これは主に、有形固定資産の増加3億51百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ5億19百万円増加し、25億55百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5億59百万円増加し、18億70百万円となりました。主な増加は、支払手形及び買掛金の増加2億30百万円、未払法人税等の増加1億24百万円であり、主な減少は、賞与引当金の減少1億12百万円であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ40百万円減少し、6億84百万円となりました。これは主に、負ののれんの減少54百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億99百万円減少し、179億8百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少1億91百万円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ8億54百万円増加し、49億47百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は11億64百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3億34百万円、売上債権の減少額4億39百万円、仕入債務の増加額2億30百万円及び減価償却費1億42百万円等による増加と、賞与引当金の減少額1億12百万円等による減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は84百万円となりました。これは主に、有価証券の売却等による収入5億円等による増加と、有形固定資産の取得による支出4億99百万円、投資有価証券の取得による支出84百万円等による減少であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は2億26百万円となりました。これは、配当金の支払額2億26百万円の支出による減少であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の経営成績は概ね計画どおり推移しており、平成20年5月2日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当社は平成20年4月1日に株式会社センシーズを新規設立したことにより、当四半期から連結子会社としております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

該当事項はありません。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

なお、この変更に伴う損益への影響は、軽微であります。

(追加情報)

当連結会計年度より、機械装置の耐用年数については法人税法の改正を契機として見直しを行い、一部の資産について耐用年数を変更しております。

なお、この変更に伴う損益への影響は、軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|-------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,238 | 4,383 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,309 | 4,750 |
| 有価証券 | 700 | 1,200 |
| 商品 | 54 | 54 |
| 製品 | 2,587 | 2,657 |
| 原材料 | 401 | 354 |
| 仕掛品 | 77 | 81 |
| その他 | 691 | 654 |
| 貸倒引当金 | △14 | △16 |
| 流動資産合計 | 14,044 | 14,120 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 3,734 | 3,383 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 198 | 214 |
| その他 | 87 | 88 |
| 無形固定資産合計 | 285 | 302 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,369 | 1,303 |
| その他 | 1,081 | 1,083 |
| 貸倒引当金 | △52 | △50 |
| 投資その他の資産合計 | 2,398 | 2,336 |
| 固定資産合計 | 6,418 | 6,023 |
| 資産合計 | 20,463 | 20,143 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 751 | 520 |
| 未払法人税等 | 147 | 23 |
| 賞与引当金 | 71 | 184 |
| 役員賞与引当金 | 6 | 16 |
| その他 | 893 | 566 |
| 流動負債合計 | 1,870 | 1,310 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 325 | 319 |
| 役員退職慰労引当金 | 263 | 257 |
| 負ののれん | 54 | 108 |
| その他 | 40 | 39 |
| 固定負債合計 | 684 | 725 |
| 負債合計 | 2,555 | 2,035 |

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,403 | 4,403 |
| 資本剰余金 | 5,861 | 5,861 |
| 利益剰余金 | 7,491 | 7,682 |
| 自己株式 | △226 | △226 |
| 株主資本合計 | 17,530 | 17,721 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △18 | △2 |
| 評価・換算差額等合計 | △18 | △2 |
| 少数株主持分 | 396 | 388 |
| 純資産合計 | 17,908 | 18,107 |
| 負債純資産合計 | 20,463 | 20,143 |

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

| | |
|--------------|-------|
| 売上高 | 4,833 |
| 売上原価 | 3,163 |
| 売上総利益 | 1,670 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,379 |
| 営業利益 | 290 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 3 |
| 受取配当金 | 8 |
| 負ののれん償却額 | 54 |
| その他 | 5 |
| 営業外収益合計 | 71 |
| 営業外費用 | |
| 為替差損 | 26 |
| その他 | 0 |
| 営業外費用合計 | 26 |
| 経常利益 | 335 |
| 特別利益 | |
| 貸倒引当金戻入額 | 0 |
| 特別利益合計 | 0 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除却損 | 0 |
| 貸倒引当金繰入額 | 0 |
| 特別損失合計 | 1 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 334 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 139 |
| 法人税等調整額 | 19 |
| 法人税等合計 | 159 |
| 少数株主利益 | 7 |
| 四半期純利益 | 167 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間

(自 平成20年4月1日

至 平成20年6月30日)

| | |
|----------------------|-------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 334 |
| 減価償却費 | 142 |
| のれん償却額 | 15 |
| 負ののれん償却額 | △54 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 0 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △112 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △9 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 6 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 6 |
| 受取利息及び受取配当金 | △11 |
| 為替差損益 (△は益) | △0 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 439 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 28 |
| 未収消費税等の増減額 (△は増加) | 7 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | △56 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 230 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 44 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | 152 |
| その他 | 0 |
| 小計 | 1,164 |
| 利息及び配当金の受取額 | 12 |
| 法人税等の支払額 | △14 |
| その他の収入 | 2 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,164 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有価証券の償還による収入 | 500 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △499 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △4 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △84 |
| その他 | 3 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △84 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 配当金の支払額 | △226 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △226 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 854 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,092 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,947 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

| 科目 | 前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日) |
|----------------|---|
| | 金額(百万円) |
| I 売上高 | 4,625 |
| II 売上原価 | 2,984 |
| 売上総利益 | 1,641 |
| III 販売費及び一般管理費 | 1,307 |
| 営業利益 | 333 |
| IV 営業外収益 | |
| 1 受取利息 | 4 |
| 2 受取配当金 | 5 |
| 3 負ののれん償却額 | 54 |
| 4 その他 | 6 |
| 営業外収益合計 | 71 |
| V 営業外費用 | |
| 1 為替差損 | 27 |
| 2 その他 | 0 |
| 営業外費用合計 | 27 |
| 経常利益 | 377 |
| VI 特別利益 | |
| 1 固定資産売却益 | 0 |
| 2 投資有価証券売却益 | 0 |
| 3 貸倒引当金戻入益 | 8 |
| 特別利益合計 | 8 |
| VII 特別損失 | |
| 1 固定資産除却損 | 0 |
| 2 貸倒引当金繰入額 | 1 |
| 3 役員退職慰労引当金繰入額 | 214 |
| 特別損失合計 | 216 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 169 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 176 |
| 法人税等調整額 | △108 |
| 少数株主利益 | 3 |
| 四半期純利益 | 98 |

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日) |
|------------------------------|---|
| 区分 | 金額(百万円) |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 1 税金等調整前四半期純利益 | 169 |
| 2 減価償却費 | 157 |
| 3 のれん償却額 | 15 |
| 4 負ののれん償却額 | △54 |
| 5 貸倒引当金の増加・減少(△)額 | △14 |
| 6 賞与引当金の増加・減少(△)額 | 100 |
| 7 役員賞与引当金の増加・減少(△)額 | △18 |
| 8 退職給付引当金の増加・減少(△)額 | 7 |
| 9 役員退職慰労引当金の増加・減少(△)額 | 224 |
| 10 受取利息及び受取配当金 | △10 |
| 11 為替差損益 | △0 |
| 12 売上債権の増加(△)・減少額 | 409 |
| 13 たな卸資産の増加(△)・減少額 | △246 |
| 14 仕入債務の増加・減少(△)額 | 5 |
| 15 未払消費税等の増加・減少(△)額 | 24 |
| 16 その他 | 61 |
| 小計 | 829 |
| 17 利息及び配当金の受取額 | 12 |
| 18 利息の支払額 | △271 |
| 19 その他 | 6 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 577 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 1 有価証券の売却等による収入 | 114 |
| 2 有形固定資産の取得による支出 | △348 |
| 3 有形固定資産の売却による収入 | 1 |
| 4 無形固定資産の取得による支出 | △4 |
| 5 投資有価証券の取得による支出 | △28 |
| 6 その他 | 24 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △241 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 1 配当金の支払額 | △261 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △261 |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 |
| V 現金及び現金同等物の増加・減少(△)額 | 75 |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,055 |
| VII 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,131 |